

レーザー加工機マニュアル 初心者用

もくじ

- レーザ加工機について
- 加工機用ソフトウェアの説明
- 各部名称
- 使用方法
- データの準備

レーザー加工機について

レーザーを用いて加工する工作機械の総称で加工機があれば、様々な素材をレーザー加工(カット・彫刻・マーキング等)ができます。

加工機用ソフトウェアの説明

SmartDIYs Creatorは画像データを取り込んでレイアウトを編集しレーザーパラメータを設定して加工を行うソフトウェアです。

対応ファイル

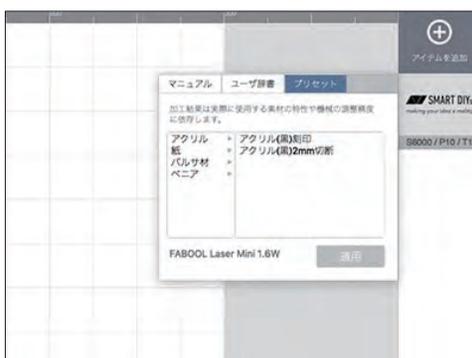
png / jpg / bmp / gif / tif / svg / dxf (R12形式推奨)

●ソフトウェアの特徴



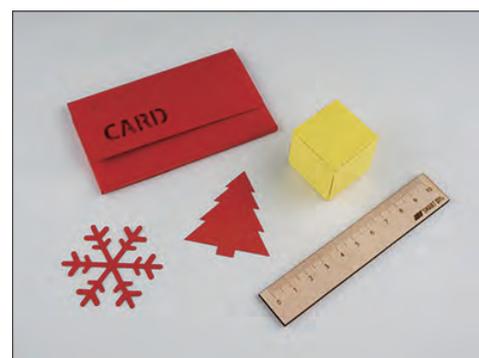
加工データの取り込み・修正が簡単

取り込んだ加工データの表示、ドラック&ドロップによる移動・拡大縮小・回転などの操作が簡単に行えます。



素材に適したパラメーター

様々な素材に適したレーザー強度・速度を指定できるプリセットパラメータを搭載。加工までの時間を短縮できます



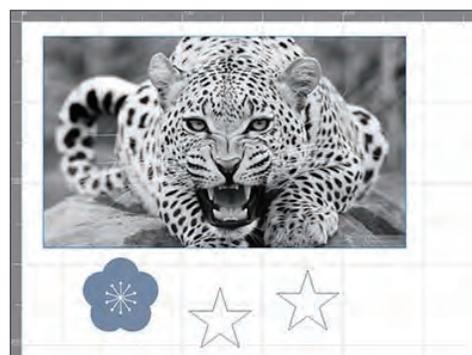
データがなくても加工可能

ソフトウェア上に数種類の図形を用意しているため、ご自身でデータが用意できない場合でも加工が可能です。



テキストアイテムの作成

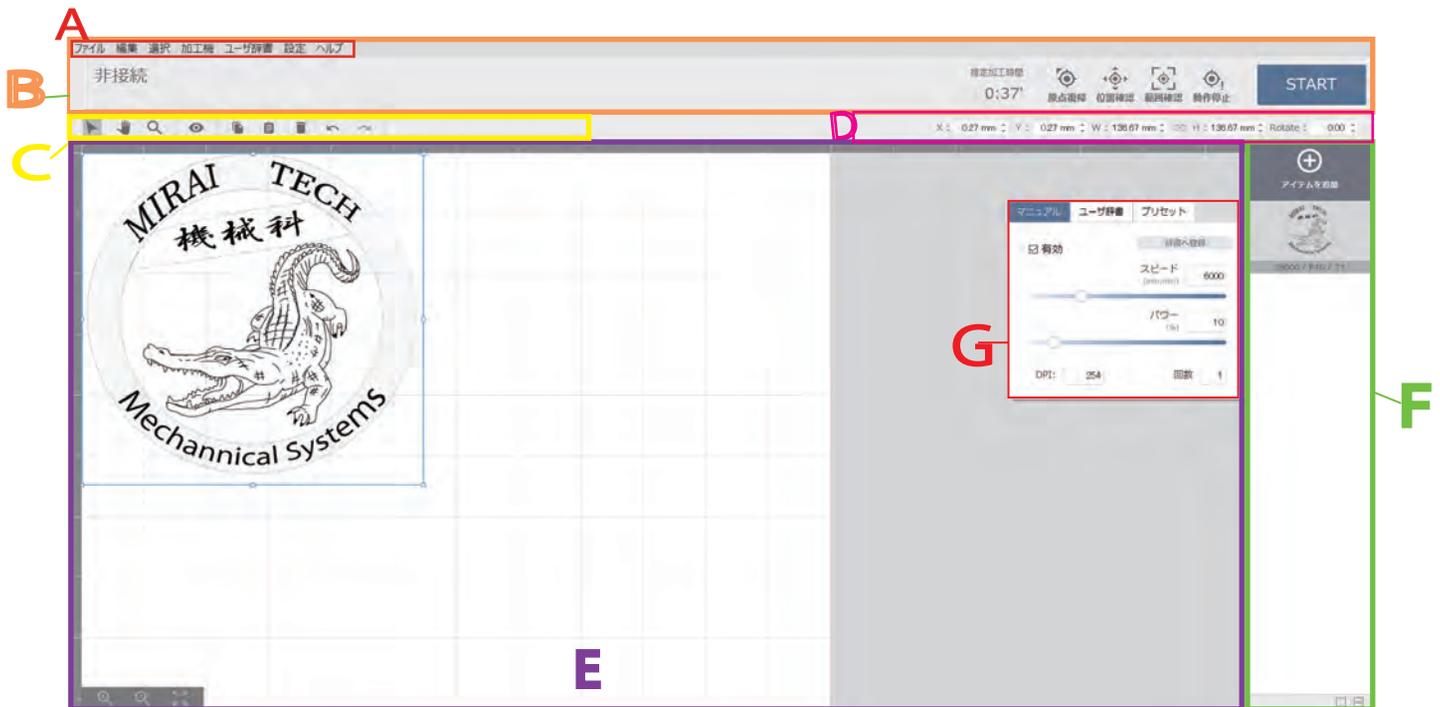
ソフトウェア上でテキスト作成が可能です。フォントや大きさを設定することができます。



多くのファイル形式に対応

代表的な画像ファイル形式のjpgやpng、またsvgやdxfといったベクター形式(カット加工に必要)に対応しています。

各部名称



(A) メニューバー

メニューを選択することにより、様々な機能を実行させます。

(B) 加工機コントロールエリア

加工機との接続状態やエラー内容が表示されます。また、加工機のコントロールは主にここから行います。

(C) ツールバー

グラフィックエリアのコントロールツールが表示されています。

(D) プロパティパレット

グラフィックエリアで選択しているアイテムの位置情報などが表示されます。

(E) グラフィックエリア

加工データのレイアウトを行うことができます。

(F) アイテムリスト

加工データを追加したり、加工データの一覧が表示されています。

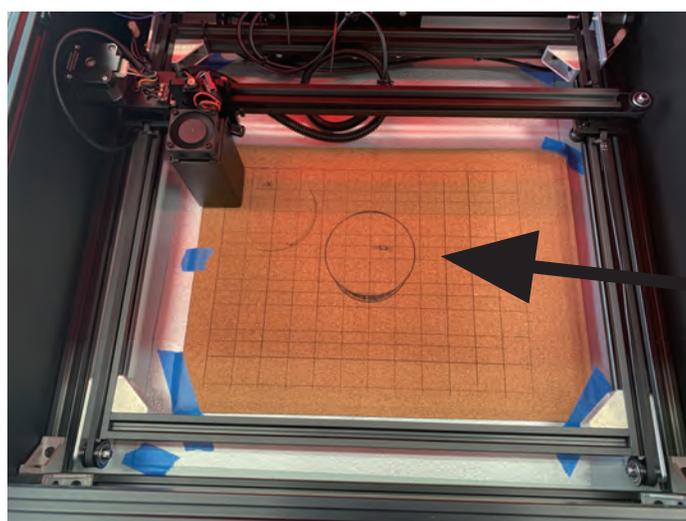
(G) パラメータ設定ウィンドウ

アイテムリストに表示されているアイテムをクリックすると表示されます。対象のアイテムの加工パラメータを設定することができます。

使用方法

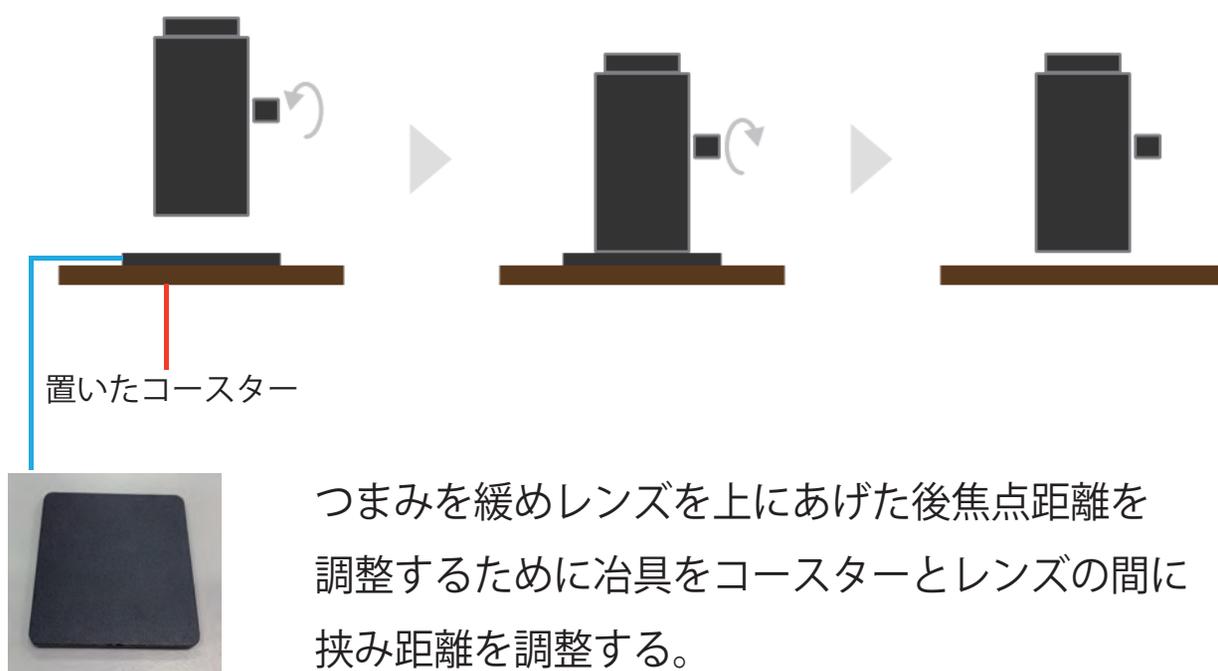
加工素材の準備

1. 加工素材を加工ベッドに設置する。



上下左右合わせて置く

2. 治具を使用して加工素材とレンズの高さを調整する。



3. レーザー加工機のふたを閉める

レーザー加工機の準備

1. レーザー加工機のコンセントを差し込む。



白いコンセント
(レーザー加工機 /
排気キットコード)
を刺す

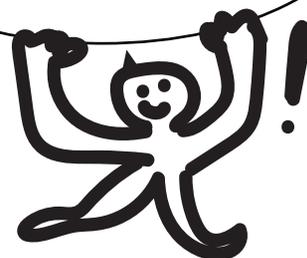
2. パソコン本体の電源をつける。



3. 窓を開け換気キットを外に出す。



粉塵爆発を避けるためしっかり
換気を行ってください。

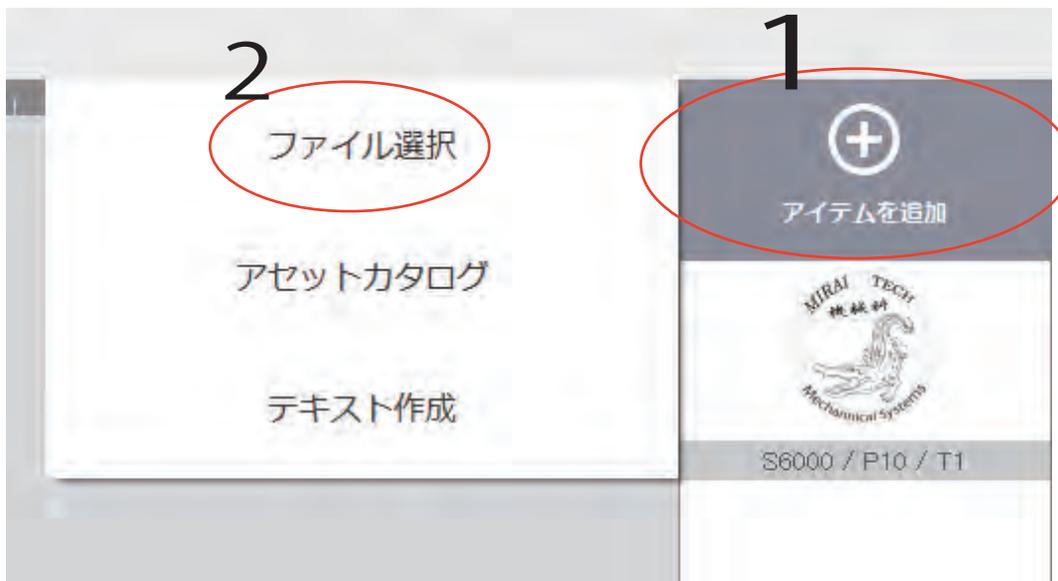


データの準備

(1) マニュアル完成版を開く。



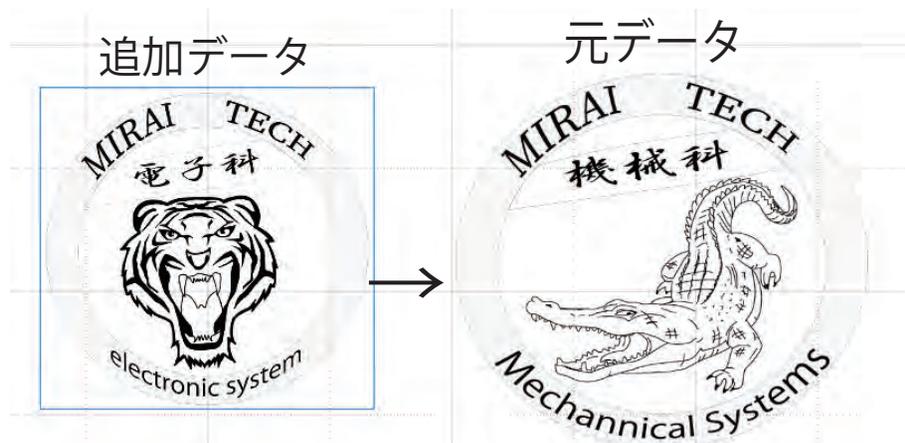
(2) 1. アイテムを追加→2.ファイル選択。



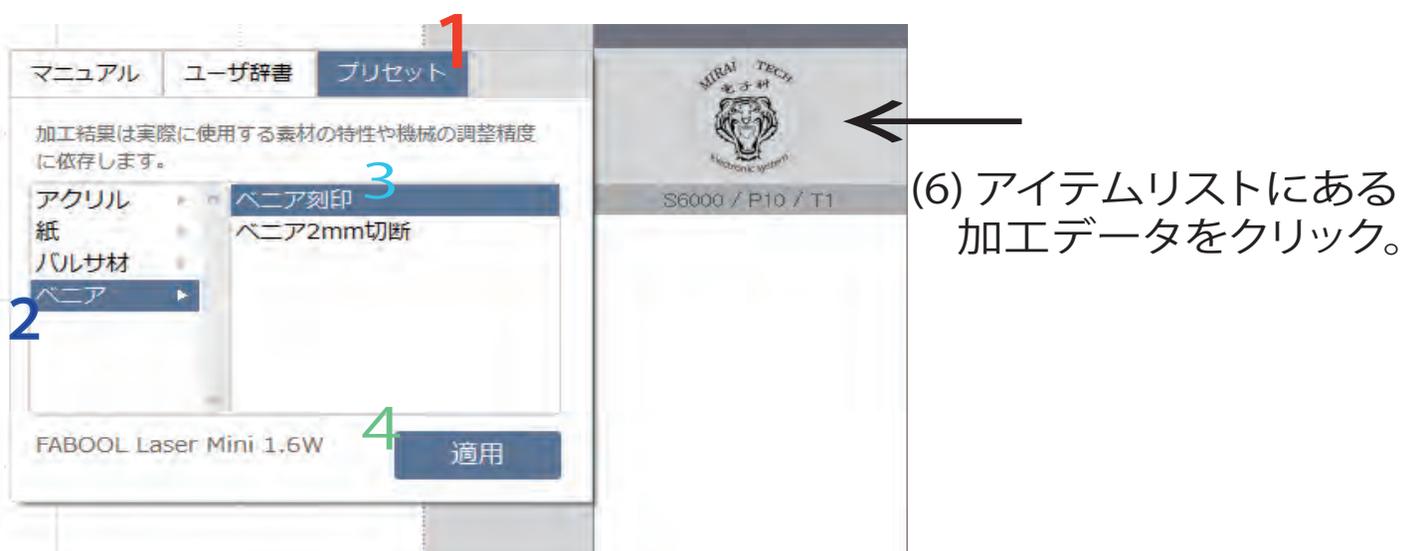
(3)好きなデータを選び開くを選択。



(4) 中央にある元データに合わせて加工したい追加データのサイズを変更し位置を合わせる。



(5) 見本のデータを削除し追加したデータだけを残す。



(7) 1プリセット→2ベニア→3ベニア刻印を選択→4適応。

(8) STARTボタンを押すと加工が開始されます。

注意点

※白色は無視されるため白色以外で色を指定してください。

- ・火災や危険に備えて加工機から離れないでください。

